

二酸化炭素(CO₂)の 吸収・回収及び吸収材技術

- ◆日時: 2024年12月20日(金) 13:00~17:00
- ◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社しながらセミナーを受けられます
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申し込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 中央大学 理工学部 応用化学科 教授 大石 克嘉 氏

本セミナーでは、これまでのCO₂吸収・分離・回収技術の紹介とCO₂吸収・分離・回収・貯蔵(廃棄)のブームの起こり方に関する考察と今後の行方について解説する。近年、環境問題の1つである地球温暖化の原因の1つとされる二酸化炭素(CO₂)の吸収・分離・回収がクローズアップされる時期がありますが、場合によってはクローズアップされない時期もあります。クローズアップされている時のCO₂の吸収・分離・回収技術の中で、CO₂吸収材は固体、液体、膜系という形態を問わず注目されてきました。これは、多少ブームに依存しているのかもしれませんが。この変動は、地球温暖化の本当の原因がCO₂なのか否かについては、まだ明かな結論が出ていない事実に依存している様に思えます。本講座では、まず、ブームであるか否かにかかわらず、CO₂の吸収・分離・回収と貯蔵(CCS)について解説します。これまで研究されてきた固体、液体、膜系を含むCO₂吸収材の一般論からスタートし、それら吸収材の利点や欠点を指摘していきます。その後、欠点を改善するための新機能をもつCO₂吸収材の構造と予想される性能及び、応用が期待される分野について述べます。最後に、CO₂吸収・分離・回収と貯蔵に関する近未来的な展望について少し考察します。

1. はじめに

- 1.1 地球温暖化と温室効果ガス
- 1.2 二酸化炭素(CO₂)排出量の増加と地球温暖化の相関
- 1.3 もしも、第一の温室効果ガスがCO₂であるとするならば

2. CO₂回収・除去の方法

- 2.1 膜分離法
- 2.2 吸着分離法
- 2.3 吸収分離法
- 2.4 その他の方法

3. 吸収分離法に用いられるCO₂吸収材

- 3.1 アミン系吸収材
- 3.2 ソーダライム系吸収材
- 3.3 リチウム複合酸化物系吸収材

4. リチウム複合酸化物系CO₂吸収材の作製方法と吸収特性

- 4.1 合成・作製方法
- 4.2 CO₂吸収特性と温度
- 4.3 CO₂吸収特性と結晶構造
- 4.4 問題点

5. 自己発熱型CO₂コンボジット

- 5.1 素材
- 5.2 構造
- 5.3 期待されるCO₂吸収特性
- 5.4 その応用分野
- 5.5 太陽光発電装置から出るSi(ケイ素)の廃材と自己発熱型CO₂コンボジット

6. 多量に排出されるCO₂の吸収・分離・回収・貯蔵

- 6.1 CO₂の吸収・分離・回収工程
- 6.2 貯蔵場所と化学反応
- 6.3 CO₂吸収ブームの発生とその行方

『CO₂吸収材【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>